公表

## 事業所における自己評価結果

## 事業所名 リンク 秋川教室

公表日 2025 年 3月 20日

				公表日		公表日	2025 年 3月 20日
			チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	Ø			
均、存用		2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	Ø			来年度より増員予定
		3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	V		外階段に隙間があるため網を設置している。保護者さんやお子さんの状況によって下まで迎えに行っている。	
		4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	Ø			
		5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	Ø			
		6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	Ø			
2		7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する 機会を設けており、その内容を業務改善につなげている か。	Ø			
	<b>業务</b>	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を 業務改善につなげているか。	Ø			
		9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		Ø		
		10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や 法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	V		初任者研修、ケース会議行っている	
		11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	Ø			
		12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こど もと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児 童発達支援計画を作成しているか。	Ø			
		13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理 責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理 解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われ ているか。	Ø			
		14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	Ø			
		15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	V			

適切な土	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの 「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連 携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支 援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な 支援内容が設定されているか。	Ø			
支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	V			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	Ø			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み 合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われてい るか。	Ø			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	Ø			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行 われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有してい るか。	Ø			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検 証・改善につなげているか。	Ø			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直 しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	Ø			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関 との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画 しているか。	Ø			
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	Ø			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	V			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	Ø		児童連絡票の作成をしている。	
		(28~30は、センターのみ回答)				
関係機関や	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業 所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等 を行っているか。				
保護者と	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から 助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
の連携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議 等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		Ø	法人内でスーパーバイズできる仕組みの構築と半年に一回のスキルチェックを行っている。またそれぞれのお子さんが関わっている専門職の方の支援を見学する機会や情報交換する機会を作っている。	専門職の方の支援を見学する機会や情報交換をする機会は頻度が少ないので、今後は増やしていきたい。

		I		1	T	T
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		Ø		ほとんどのお子さんが基礎集団がありそこ で他の子どもと接する機会があるため、事 業所としては機会創出をしていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発 達の状況や課題について共通理解を持っているか。	☑		支援後にフィードバックの機会を設けている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族 支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の 参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	Ø			希望者多数のため全員に行えていないため 引き続き行っていきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧 な説明を行っているか。	Ø			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の 意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏 まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けてい るか。	Ø		アンケートを実施している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	V			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	Ø			
保護者への	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		Ø		座談会を実施しているが、きょうだい同士 の交流は行っていないため、きょうだいが 参加できる機会も設けられるよう検討した い。
の説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	☑			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	Ø			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	Ø			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達の ための配慮をしているか。	Ø			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた 事業運営を図っているか。	Ø		あきる野夏祭りに出店している。関係者や 見学希望者の見学を随時受け入れている。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	Ø			
	46	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	Ø			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状 況を確認しているか。	Ø			
非	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に 基づく対応がされているか。	Ø		現在アレルギー配慮が必要の子さんはいないが、ご利用時にアレルギーの有無についてアンケートの記載をお願いしている	
常時等の対	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その 他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支 援が行われているか。	Ø			

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られる よう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周 知しているか。	Ø		
	51	   ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方   策について検討をしているか。	Ø		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適 切な対応をしているか。	Ø		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	Ø		